

★環境セミナー「知ろう、学ぼう、そして考働を！ ～世界の環境は今～」(6/14開催)



6月14日(土)、新組合員研修、2年生・3年生のこん談、ユニオン委員研修、ビジョンづくり委員会第6ステージ合同による、環境セミナー「知ろう、学ぼう、そして考働を！～世界の環境は今～」が開催されました。

当日は、ユニオンが環境学習のプログラム作りを行っている「ひょうご環境体験館」の協賛のもと、同館を会場にセミナーが開催され、あわせて79名の参加がありました。体験館の施設見学に引き続き、特別講演として中央環境審議会会長、国際連合大学特別顧問などの要職を歴任されている、鈴木基之博士による講演「環境の変化は今～人類はなにをしてきたか～」が行われました。

▲「次の世代へ誇りある対応を！」と語る鈴木博士

鈴木博士の講演では、人類発生の起源から文明や科学の発生に始まり、地球温暖化のメカニズムやIPCC(気象変動に関する政府間パネル)での報告内容、科学者から国民への緊急メッセージなど、客観的なデータに基づく話が行われ、また、日本政府が対外的に示した「美しい星50(Cool Earth 50)」にも触れられ、3つの具体的な目標についても説明いただきました。

〈具体的な目標〉

- ・2050年までにCO₂の排出量を地球全体で50%削減
- ・わが国における1人あたりCO₂発生量を、今後40年の間に年間2.5トンから0.4トンに削減
- ・化石燃料の使用量を約1/6に縮小

講演を通じ、鈴木博士より「これまでのパラダイムからの転換が必要であり、持続可能な(サステナブルな)人間活動とは着地点からの発想が必要なこと、そして世界に目を向けた上でその多様な文化・文明の理解と、先進国とはなにかを“途上国”から学ぶ必要がある」との考えが述べられました。

新入社員の参加者からは「企業として実際に着地点からの発想をしている例があるのでしょうか？」という質問があり、「一流といわれる製造業は既に少し前から考え始めており、分かりやすいところではコピー機業界などが良い例」との回答がありました。

講演の最後には、鈴木博士より参加者に対し「若い人がパラダイムシフトを理解することが必要であり、わが社のためにはなく社会のために、そして社会のためにはなく世界のためにと考え、次世代、次々世代への誇りある対応を行ってくれることを若いみなさんに期待している」とのエールが贈られ、講演は終了しました。

講演の後には場所を本社に移し、新入生の歓迎を含めた参加者全員によるこん親会が本社8階会議室で開催されました。参加者からは「鈴木先生の話は難しかったけれど、私たちのような若い者にも丁寧に説明していただき、大変有意義な講演だったと思う。」「久々に同期の仲間に出会えることができ親睦を図ることができた。また、他部署の諸先輩のみなさんとも親睦をはかることができ、本当に有難く感じた。」との声が聞かれ、セミナーは終了しました。



▲新入社員からも鈴木先生へ積極的な質問が！